

# 「横手やきそば」がゴールドグランプリ受賞！

～ B 級ご当地グルメの祭典「B - 1 グランプリ in YOKOTE」が開催～



去る 9 月 19 日(土)、20 日(日)の 2 日間、B 級ご当地グルメの日本一を決める「B - 1 グランプリ in YOKOTE」(主催：B - 1 グランプリ in 横手実行委員会・愛 B リーグ、後援：本会他)が横手市で開催された。

4 回目を迎える本グランプリは、横手市の中心市街地特設会場及び秋田ふるさと村特設会場で開催され、全国から 26 団体が出展する中で、「横手やきそば」が初のゴールドグランプリを受賞した。

## 2 日間で 26 万人が来場

B 級ご当地グルメは、安くて旨くて地元の人々に愛されている料理を言う。4 年前に始まった B - 1 グランプリの参加団体も年々増え、北は北海道、南は九州まで、今年の出展数は史上最多となった。

テレビ等でのメディアでも注目度は大きく、来場者数は当初予想の 15 万人を大きく超える 26 万人となった。

協同組合横手やきそば暖簾会の伊藤一男理事長は、「ゴールドグランプリを受賞した翌日から市内のやきそば店では行列ができる程の賑わいとなっており、経済効果の大きさに驚いている。行政や商工団体を始め、たくさんの方々のご支援により、全国規模の知名度を得ることができた。今後はお客さんへの対応力の向上等、地域ブランドとして更なる発展につなげていきたい。」と話している。



「横手やきそば」のブース

## 広がりを見せるご当地グルメ

県内においてもご当地グルメは広がりを見せている。B - 1 グランプリが行われた同会場では、秋田県内観光・食の祭典「秋田 A - 1 フェスティバル」(主催：秋田県、(財)自治総合センター)も同時に開催され、ブースには協業組合田沢湖共栄パレスの鬼川孝助常務理事が会長を務める田沢湖特産品研究会の「田沢湖 B めん」や「男鹿のやきそば」等、近年開発されたご当地グルメも多数出展しており、ご当地グルメを通じて地域活性化に結び付けようとする動きが活発となっている。

田沢湖特産品研究会の鬼川会長は、「田沢湖 B めんは、観光客数の低迷により減少していた売上を回復するため、名物料理を開発し、かつ、地域として盛り上げていくべきとの秋田県中央会のアドバイスがきっかけとなり開発に着手した。現在では、当レストランの注文の 1/3 を占めるまでに成長しており、今後は更なる知名度アップに取り組みたい。」と抱負を述べた。

B 級グルメは地域自らの力で出来る地域活性化策として、関係者は大きな期待を寄せている。



田沢湖 B めん